

# 2018年度冬季における電源 I ' の発動実績について

2019年4月19日

調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 事務局

(余白)

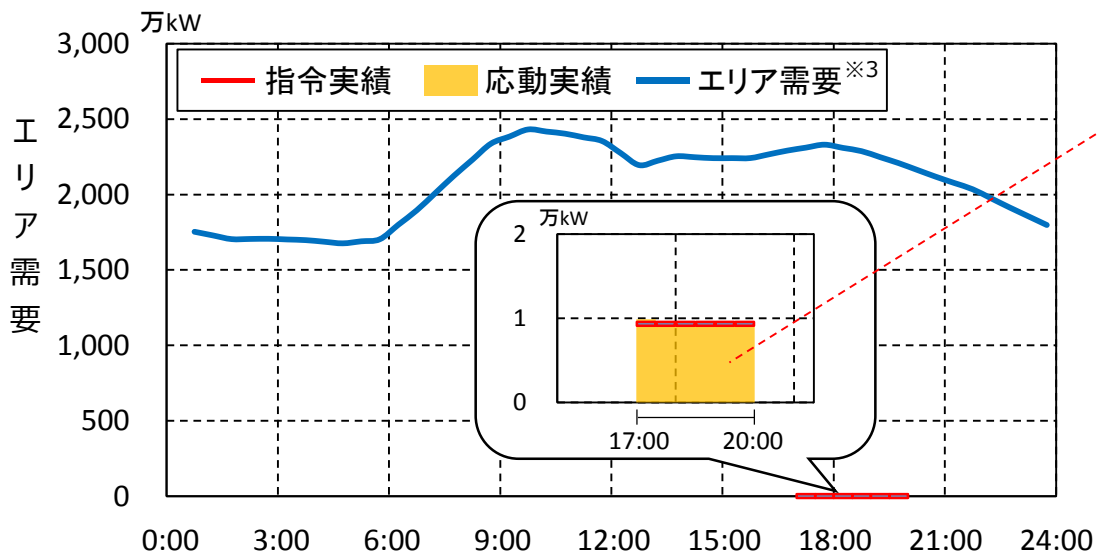
- 2018年度冬季における電源 I ' の発動実績について各一般送配電事業者を確認したところ、関西エリアにおいて1回の発動実績があり、指令量に対する達成率は100%であった。
- 今後も引き続き、電源 I ' の発動実績データについて蓄積を行う。

## <2018年度 冬季における電源 I ' 発動実績>

エリア	発動日数	発動回数	指令対象期間		指令量	種別
関西	1	1	1月10日 (木) ※1	17:00~20:00	1万kW	電源側

### 【発動経緯】

当該日の需給状況は、前日想定からの需要増と太陽光出力予測からの下振れにより需給が厳しくなった。日最大を記録した9時台は発動を行わなかったが、日中の気温が予想に比べ低く、需要も高めに推移したため、揚水発電の池容量確保も考慮し、照明需要が増加する午後ピークで発動した。



【指令量】 17:00~20:00 1万kW  
 【達成率※2】 17:00~20:00 100%

- ※1 1月10日は関西エリアの2018年度冬季最大需要を記録。(9:00~10:00)  
 また、中部エリアは本機関指示による需給ひっ迫融通を、関西を除く7エリアから受電。(9:00~12:00、13:00~19:00)
- ※2 「達成率」は、指令量に対する応動量の比率として算出。  
 (達成率 = 応動量 ÷ 指令量)  
 なお、達成率は発動期間における電力量で算出したもの。
- ※3 エリア需要は、広域機関HP系統情報サービスの需要実績による。

## 2019年1月10日の他エリアの需給状況(東京エリア・関西エリア) ～需給バランス実績

10

- 関西エリアでは、太陽光出力の下振れ(130→53万kW)が発生し、予備率が午前ピークにおいて4.3%となり、午後ピークも同程度の予備率であり、需給が厳しい状況であった
- 東京エリアでは、午後ピークにおいて100万kW以上の需要の上振れがあったものの、日没後であり、太陽光出力の下振れは発生しておらず、予備率としては5.0%以上を確保していた状況であった

<9時～10時(午前ピーク)>

東京エリア

[万kW, %, °C]

計画策定断面	実施日時	9時～10時 需要想定	供給力		予備率	天候	気温
			(内)太陽光				
融通前	8:00	4,806	5,328	332			
融通後	9:00	4,871	5,229	303			
	実績	4,856	5,278	300			

当日の日最大需要実績 (9～10時)  
【参考】 厳寒H1需要想定：2,574万kW

関西エリア

計画策定断面	実施日時	9時～10時 需要想定	供給力		予備率	天候	気温
			(内)太陽光				
9時～10時	9:00	2,427	2,554	130	5.2	曇	5.2
	実績	2,432	2,536	53	4.3	曇	3.4

<17時～18時(午後ピーク)>

東京エリア

[万kW, %, °C]

計画策定断面	実施日時	17時～18時 需要想定	供給力		予備力(率)	天候	気温
			(内)太陽光				
融通前	9:00	4,626	5,003	0	8.2	晴	6.2
融通後	14:00	4,782	5,075	0			
	実績	4,906	5,213	0	6.5	曇	5.0

午後ピーク需要実績 (17～18時)

関西エリア

計画策定断面	実施日時	17時～18時 需要想定	供給力		予備力(率)	天候	気温
			(内)太陽光				
17時～18時	9:00	2,284	2,403	0	5.2	晴	8.0
	実績	2,331	2,431	0	4.3	曇	7.2